

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 大田原国際交流会

1 事業の趣旨・目的

- ・ 日本で暮らす外国人に日本語を教え地域に貢献する
- ・ 学習者のニーズに合った指導が出来る人材育成

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議 題	会議の概要
2009 8/19	ボランティアセンターユースアイ館	・鈴木邦男 ・蛭田真透 ・小田まさ子 ・後藤秀雄	日本語養成講座について	講座の趣旨説明
2010 1/20	〃	〃	講座中間報告 委託契約の締結	事業内容及び経過報告
2010 2/26	〃	〃	講座終了につき報告会	経過報告及び反省

【写真】

3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 日本語指導者養成講座
- (2) 養成講座の目標 学習者のニーズにあった指導が出来る人材育成
- (3) 受講者の総数 24 人
- (4) 開催時間数(回数) 33 時間 (22 回)

- (5) 参加対象者の要件 講座終了後日本語教室ボランティアをすること
(6) 受講者の募集方法 ポスターを作り各方面に配布、市の広報誌に掲載

(7) 研修会場 ボランティアセンター「ユーアイ館」「大田原市住吉町」

(8) 使用した教材・リソース

- ① みんなの日本語
- ② " 教え方の手引き
- ③ " 文法解説ポルトガル版
- ④ " " 英語版
- ⑤ " " 中国語版
- ⑥ " " 韓国語版
- ⑦ 入門日本語教授法
- ⑧ 活動集101
- ⑨ 日本語の教え方ABC
- ⑩ 初級日本語文法と教え方のポイント
- ⑪ おたすけタスクCD-ROM付き初級日本語
- ⑫ なっとく、知っとく、初級文型50

(9) 講座内容

日 時	講座名／学習内容	講 師	受講者数
9月3日 20:00～ 21:30	外国語を教えるということ	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世 他 補助 1	24名
9月10日 20:00～ 21:30	みんなの日本語 教え方の手引き	〃	24名
9月17日 20:00～ 21:30	みんなの日本語 翻訳・文法解説他	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世	24名
9月24日 20:00～ 21:30	絵カード 実習の進め方	〃	24名
10月1日 20:00～ 21:30	みんなの日本語 教え方の手引き	〃	24名
10月8日 20:00～ 21:30	絵カード 教材作成	〃	24名
10月15日 20:00～ 21:30	絵カード 先生プリント	〃	23名
10月22日 20:00～ 21:30	実習	〃	22名
10月29日 20:00～ 21:30	みんなの日本語 教え方の手引き	〃	20名
11月5日 20:00～ 21:30	教材作成	〃	22名
11月12日 20:00～ 21:30	絵カード 先生プリント	〃	22名

11月19日 20:00～ 21:30	実習	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世	20名
11月26日 20:00～ 21:30	みんなの日本語 先生プリント	〃	22名
12月3日 20:00～ 21:30	教え方の練習	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世 他 補助 1	20名
12月10日 20:00～ 21:30	実習	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世 他 補助 2	22名
12月17日 20:00～ 21:30	みんなの日本語 教え方の手引き	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世	20名
1月7日 20:00～ 21:30	教え方の練習	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世 他 補助 1	20名
1月14日 20:00～ 21:30	実習	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世 他 補助 2	20名
1月21日 20:00～ 21:30	第3課 進出語の絵カード	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世	20名
1月28日 20:00～ 21:30	教え方の練習	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世	20名
2月4日 20:00～ 21:30	実習	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世 他 補助 3	22名
2月18日 20:00～ 21:30	まとめと振り返り 閉校式	国際医療福祉大学 講師 渡辺 春世	22名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- ・ 日本語を教えることがこんなに難しいこととはおもわなかったが先生について教えていただいて勉強できたことはほぼ満足でした。

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ・ 外国人にモデルになっていただき教え方の実習したことが大変よかった。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・ 外国人への理解が出来 当国際交流会の事業に積極的な参加

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

② 研修後の人材活用

- ・ 大田原国際交流会の日本語教室で指導をしていただく

(12) 今後の課題